

奇跡や癒やしは 2000 年前の聖書の時代にはあったかもしれないが、医学の発達した今の時代には、もうないという人たちもいます。私たちはどうでしょうか。

私たちは科学や医学を超えて、主は生きておられて、今も働いておられ、その主の御業を体験したいと願っています。私たちの中で、自分では到底無理と思えることで、聖霊の促しによって、驚くような奇跡的なことを経験した事はないでしょうか。

今日の学びの要点

ペンテコステに来て下さったご聖霊が、弟子たちの内に住んでくださいました。
主イエス様は地上におられなくなりましたが、弟子たちやクリスチャンたちの信仰を通して、今も主は、生きておられた時と同じように働いて下さいます。

I、聖霊降臨の出来事 (使徒の働き 2:1～13)

1、ペンテコステの日、聖霊が降られ、弟子たちは驚くべき不思議な事を体験しました。どのような事でしょうか。

①使徒の働き 2 : 4

②激しい風の音を聞いた人々→

③隠れていたペテロが大胆にイエス様の十字架と復活を証し、ナザレのイエスこそキリストであると話しました。人々はどうしましたか。 (使徒の働き 2:41)

2、この 3000 人のイエス様をキリストと信じた人々は何をしていましたか。 (使徒の働き 2:44～46)

・ 一切の物を共有していた ・ 宮に集まる ・ 家でパンを裂いて食事をしていた

3、その結果、どのようなことが起きていましたか。 (使徒の働き 2:47)

・ 民全体からは…
・ 日々何が起きていましたか…

Ⅱ、美しの門での出来事 (使徒の働き 3:1~10)

1、ここに運ばれてきた、生まれつき足の不自由な人について、注目してみましょう。
(美しの門は、神殿に男性が入るための唯一の門です)

①彼は、何時に宮に来たのでしょうか。その目的は何でしょうか。

②彼は、町中で大騒ぎになったイエス様が十字架に付けられた事、ペンテコステの日の大騒ぎを知らなかったのでしょうか。

③主イエスに出会えず、癒やされない自分をどう思っていたのでしょうか。

2、ペテロやヨハネが主イエス様の名によって、癒やしの業を行った事について、考えてみましょう。

①初めて、ペテロやヨハネが、主イエス様に癒やしの業を行う力と権威を頂いた時の事をみましょう。(ルカ9:1~10)

・その時、弟子たちとイエス様は別行動でした。

・遣わされた弟子たちは、何を信じて、何に頼っていたのでしょうか。

②今回、復活・昇天された主イエス様の名によって、生まれつき足の不自由な人に宣言しました。ペテロとヨハネの内にあるものとは何でしょうか。

(使徒の働き 3:6)

③どうして、ナザレのイエス・キリストの名とペテロは言ったのでしょうか。

3、癒やしには段階があります。この男は、どの領域でイエス様と出会って、癒やされたのでしょうか。

ナザレのイエス・キリストという名を聞いた ➡ 手を取って起こしてもらった ➡

くるぶしが強くなった ➡ 立ち上がった ➡ 歩き出した ➡ 踊り出した